

**緊急人道支援の国際 NGO ジャパン・プラットフォーム (JPF)、
イラク・モスル制圧により発生した避難民への支援を決定**

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（東京都千代田区／以下、JPF）は、「イラク国内避難民支援 2014」として本日 14 日に出動を決定しました。既に JPF 加盟 NGO 1 団体が支援を表明しています。

6月10日、イスラム過激派組織「イラクとシリアのイスラム国 (ISIS)」が、イラク北部の都市モスルを武力により制圧しました。それにより当初約 15 万人の市民が戦闘を逃れて避難し、その数は 50 万人にもものぼっています^{※1}。現地では日中の気温が 50 度にもなり、着の身着のまま逃れてきた避難民は深刻な状態にさらされています。

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) は、州境にて、流出避難民に対する応急的な食糧や給水支援を開始しています。国際連合世界食糧計画 (WFP) は最も脆弱な 42,000 人に対して緊急食糧支援を行っています^{※2}。また、アルビル州政府は、アルビルに到着した避難民に対して、テント、土地整備、救急車などを提供する予定です。

※1: IOM Iraq Flash Report, 10 June 2014 ※2: World Food Programme, 12 June 2014

現時点における、ジャパン・プラットフォームの「イラク国内避難民支援 2014」として予定している事業展開は以下のとおりです。今後の状況につきましては、随時ホームページ等でご報告させていただきます。

- ・対応期間 : 2014年6~9月 (初動対応)
- ・予算 : 5,000万円 (政府資金)
※予算と対応期間については、今後の現地の状況等に基づき見直すことがあります。
- ・出動予定の団体 : 特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン (PWJ)
- ・内容 : 食糧、物資配布、水衛生、キャンプ設置 (予定)

以上

■ ジャパン・プラットフォームについて

特定非営利活動法人 (認定NPO 法人) ジャパン・プラットフォームは、日本の緊急人道支援の新しいしくみとして2000年に誕生した中間支援団体です。NGO・経済界・政府が対等なパートナーシップのもとに連携し、迅速かつ効率的に国内外緊急支援を実施するため、単独では包括的な支援を行う財政基盤等が十分でない日本の加盟NGOを様々な形でサポートしています。設立以来40以上の国・地域で、総額310億円、980以上の事業を実施してきた実績を持つだけでなく、企業とNGOの協業を促進し、支援活動報告をしっかりとすることで確かな信頼を築いてきました。各得意分野のある48の加盟NGOと情報を共有し、ともに支援プロジェクトをつくります。民間から総額70億円以上が寄せられた東日本大震災支援では、被災地の地域連携・中間支援組織、地元NGOをサポートし、復興への体制整備に貢献しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム 広報担当: 高杉/小林

〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-6-5 麴町 GN 安田ビル 4F

TEL: 03-6261-4750 FAX: 03-6261-4753

www.japanplatform.org E-mail: jpf_pr@japanplatform.org Facebook: ジャパン・プラットフォーム

Twitter: @japanplatform 国内事業アカウント: @jpf_kokunai